

『気持ちや痛みを理解する』

高二

私は「人権」について、あまり深く考えたことがなかったのですが、人権とは何かを考えれば考えるほど、大切なことは「友達や仲間、周りの人をよく見て考える」ことだと思えます。

人権問題といえ、学校や社会などで起きる「いじめ」住んでいる所や家庭の事情等で起きる「差別」などだと思います。いじめや差別が起るのは、相手に対しての思いやりや、されたときの相手の心の痛みを理解していないからだと思えます。

例えば、何の悪意ももっておらず遊び半分で言ってしまった言葉でも、言われた側は心に傷を負ってしまうかもしれません。だから相手の立場になってみて、「この言葉を言われたらどんなにいやな思いをするか」や「言われたらいやか」をしっかりと考えて言葉を選んで伝えることが大切だと思います。

また、自分が自分らしくいることが大切だと思

いました。いじめ等で周りから無視されている子へ自分から勇気をもって接し、心に負ってしまった傷を少しずつなくしていくことが大切だと思います。

実際にいじめられている子や差別されている子がいたとして、私が勇気をもって手を差し出せるかと言ったら、多分少し悩んでしまいます。「もし、自分もいじめられたら」と考えてしまい、手が出せないと思います。しかし、それを考えてしまったら、いじめや差別等を受けている人をいつまでも助けることができなくなってしまい、後悔することになると思うので、自分のためではなく相手のために行動することが大切だと思います。今回、人権について深く考え、自分がもしその場にいたらどう行動すればいいのかを考えたいので、手を差し伸べるようにしようと思えました。私も考えたことについて忘れずに行動していこうと思います。